



「こんなに多い雪初めて!」「本当の記念写真ね!」と歓声を上げる東京から来館の皆さん。(2月10日)

休館中の支援に感謝 東京から最多の44人

今冬は史上まれにみる厳寒豪雪に見舞われ、資料館も屋根の雪が軒下の積雪につかえたり、胸像も除雪が追いつかず、完全に雪に埋もれることもありました。それでも、資料館入口の屋根や階段の除雪は昨年同様、会員ボランティアが支えてくれました。例年にならぬ豪雪だっただけに大変な重労働でした。心から深く感謝いたします。

冬季休館中に予約で開館したのは、1月から2月に

4月から 通常開館

深澤晟雄資料館は1月か

かけて6回、56人が入館しました。入館者で遠くは兵庫県から、最も多いのは東京都の44人でした。雪あかりの2月10日、東京の21人の予約団体案内中に盛岡から4人が入館、退館時に入館料の支払いを申し出られる一幕もあつて臨時の係員が入館者に支えられる場面もありました。

から3月まで予約で開館する
冬季の休館体制をとつてき
ましたが4月1日から通常
開館します。

また、毎週火曜日は休館

今年もよろしく

年賀状ありがとうございました

深澤晟雄の会ニュースは1月と2月を諸般の事情で休刊しました。1月号休刊で新年のご挨拶も失礼しましたが、皆さんからは激励や感謝の言葉を添えた年賀状をたくさん頂戴しました。「深澤さんの遺志が途切れないよう頑張ってください」(新潟県・渡辺孝司様)「温かいご支援ありがとうございます」(新潟県・渡辺孝司様)「温かいご支援ありがとうございます」(新潟県・渡辺孝司様)など。

「深澤さんの遺志が途切れないよう頑張ってください」(新潟県・渡辺孝司様)「温かいご支援ありがとうございます」(新潟県・渡辺孝司様)など。

金一封に感謝

西和賀町沢内太田	深澤 武志様
西和賀町沢内太田	山村 隆司様
西和賀町沢内新町	淀川 敏行様
花巻市高木	三田 照子様
埼玉県さいたま市	高田 健様
千葉県大多喜町	名原 壽子様

深澤精神に生きて 旭日双光章に輝く

沢内前郷出身で

さいたま市の高田健さん



昨秋の叙勲で旭日双光章を受章した さいたま市大宮区在住の高田健さん(写真)は、旧沢内村出身でクリーニング業一筋に業界の振興発展に尽力されました。

その人生を支えたのは深澤晟雄精神でした。受章祝賀会の記念品には及川和男著「村長ありき」の本に深澤晟雄資料館のパンフレットも添えられました。

クリーニング業界に貢献

高田健さんは沢内前郷の出身で昭和13年9月15日生まれの74歳。生涯をクリーニング業界の発展に尽くし、現在は全国クリーニング生活衛生同業組合連合会

相談役として業界の人望を集めています。昭和29年4月埼玉県大宮市の玉川洗染工業に入社し、クリーニング技術の研鑽に努め、同38年6月自立して「まごころクリーニングわが」を開業しました。爾来50

年余りにわたって事業の発展と業界の振興に情熱を傾けられました。その活躍は埼玉県や全国のクリーニング関係組合にとどまらず、大宮市交通安全協会、同商工会議所、同保健所管内環境衛生協会等の要職を通じて、和をもつて社会奉仕や組織の振興発展に貢献、数々の表彰や感謝状がその活躍を物語っています。

その高田さんは昨年11月3日の秋の叙勲で旭日双光章受章の栄に輝きました。受章記念祝賀会が新年1月

郷里の先人を人生の師に

祝賀会出席者に感謝を込めて記念品としたのが及川和男著「村長ありき」と宮澤賢治の詩色紙「雨ニモマケズ」でした。それに深澤晟雄資料館のパンフレットも添えられました。

高田さんが人生の師と仰いだのは深澤晟雄村長で、氏の人格や立ち居振る舞いにも深澤精神が影響しているといわれます。同様に岩手が生んだ天才詩人宮沢賢治の詩も氏の人格形成に大きな影響を与え、生きる支えとしてきました。

記念品の「村長ありき」は大量の冊数で、直接出版元に発注して取り寄せたという事です。また、深澤晟雄資料館のパンフレット

27日東京のホテルニューオータニで開かれました。祝賀会には衆参国会議員や厚労省関係幹部はじめ業界関係者等480人ほどが出席して行われました。

も急きよ500部を印刷して間に合わせました。日本でも著名な人材が集う受章祝賀会に、自分を育ててくれた郷里の先人を紹介する記念品に、高田さんらしいという声も聞かれたという事です。

氏は以前から深澤晟雄資料館への思いも厚く、機会あるごとに多額のご寄付を寄せられました。「生命尊重こそ政治の基本」という深澤精神に思いを重ねて、郷里の発展を願う氏の熱い心が伝わってきます。

深澤晟雄の会の太田祖電理事長は、高田さんへの感謝と受章の慶びを祝電に託して受章祝賀会に送りました。